

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>日本全国すべての地域で超高速ブロードバンド基盤の整備が本当に必要なのでしょうか？山間僻地の未整備エリアに在住する私の両親などは高速ブロードバンド通信の必要性を感じておらず、そのような高速ブロードバンド通信が必要でないユーザまで光通信を押し付ける必要が本当に必要なのでしょうか。</p> <p>「光の道構想による、全国光化の目的とはなにか」、「高齢者にも使える光通信の利用方法はなにか」など、国民の混乱を招かないように時間をかけて議論をすすめていただくよう要望します。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>事業者間の公正競争を活性化させることには異論はありませんが、各事業者は公正条件で競争できているのでしょうか？</p> <p>固定電話とインターネットと携帯電話をまとめて申し込みについて聞いたところ、NTTでは固定電話とインターネットはお申し込みできるが、携帯電話はDOCOMOへ申し込まなければいけないとのことでした。一方KDDIでは固定電話とインターネットと携帯電話がまとめて申し込めるとのことでした。これではNTTが不便で、KDDIが便利であるため、ユーザはどちらを選ぶのでしょうか。それで公正な競争が成り立つのでしょうか。公正な競争により料金を安くして超高速ブロードバンド通信の利用率を上げるという構想は大丈夫なのでしょうか。</p> <p>以上、素人が大きなことをいって申し訳ございませんが正直な気持ちをお伝えしました。</p>